



二次災害を防ぐために

家具類の転倒・落下を防ごう

阪神・淡路大震災で亡くなった方の約8割は、建物の倒壊や家具の下敷きなどによる窒息や圧迫が原因でした。家具は必ず倒れるものと考え、家具類の固定や配置の見直しをしたり、家具の上に物を置かないようにするなどの対策を行いましょう。



家具転倒防止金具の取り付け費用を一部助成します

市では、家具の転倒を防止するための金具などを自ら取り付けることが困難な世帯に、取り付け費用の一部を助成します。詳しくは、[千葉市 家具転倒防止](#)

対象 65歳以上の方や重度障害者のみの世帯(20歳未満の方を含む場合も可)

補助額 出張料=上限5,000円

取り付け費用=家具など1台当たり上限500円(5台まで)

注意 •申請前に取り付けた金具は助成対象になりません。

•助成は1世帯1回限りです。

•受け付け窓口は、重度障害者がいない世帯は保健福祉センター高齢障害支援課高齢支援班、重度障害者がいる世帯は同課障害支援班です。

問 保健福祉センター高齢障害支援課

中 央 ☎221-2150 FAX221-2602 花見川 ☎275-6425 FAX275-6317

稻 稲 ☎284-6141 FAX284-6193 若 葉 ☎233-8558 FAX233-8251

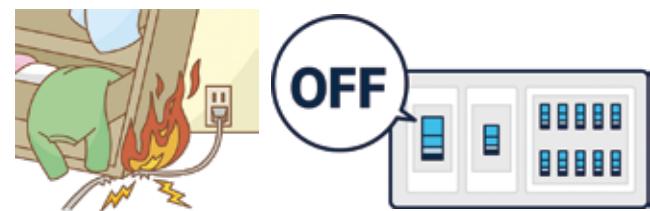
緑 ☎292-8138 FAX292-8276 美 浜 ☎270-3505 FAX270-3281



安全に避難できるよう、玄関や通路に倒れやすい物を置かないことも大切です。

感震ブレーカーを設置しよう

阪神・淡路大震災や東日本大震災で発生した火災の6割以上は、電気が原因といわれています。感震ブレーカーは設定値以上の揺れを感じたときに、ブレーカーやコンセントの電源を自動的に落とす器具で、地震による電気火災対策で効果的です。製品ごとの特徴や注意点を踏まえて適切に選びましょう。



感震ブレーカーの設置費用を補助します

市内で延焼の危険性が高いと考えられる一部の地域の町内自治会を対象に、感震ブレーカーの設置費用を補助しています。

対象地域など詳しくは、[千葉市 感震ブレーカー](#)

問 消防局予防課 ☎202-1613 FAX202-1669



家族の一員！ペットを守ろう！



頼れる飼い主で助かるワン！
安心だニャン！

災害時、大切な家族の一員であるペットを守るのは飼い主です。いつか来る災害に備え、日ごろからできる防災について考えましょう。

問 生活衛生課 ☎245-5586 FAX245-5556

災害が起こったら

まずは自分の安全を確保した上で、ペットを守る行動をしましょう。



避難所では

動物が苦手な人やアレルギーのある人など、さまざまな人が集まり共同生活をします。そのため、原則として、ペットの飼育場所は人の居住スペースと分けられます。

避難所ごとのルールに従い、周囲の人々に配慮しましょう。

災害が起こる前の準備

- 誰がペットを避難させるか決めておく
- 緊急時のペットの預け先を決めておく
- ペットと避難（同行避難）するための防災グッズの準備
- ペットへのマイクロチップ（犬の場合、鑑札と狂犬病予防注射済票）の装着
- 基本的なしつけの習得（無駄吠えしない、ケージを嫌がらない、決められた場所で排泄できる、犬の場合は号令に従う）
- 各種ワクチン（犬は狂犬病予防注射）の接種、ノミ・ダニの駆除



ペットのための備蓄品

- 療法食や薬（治療中のペット）
- キャリーバッグやケージ
- トイレ用具（ペットシーツ、処理用具、トイレ砂など）
- 飼い主の連絡先、ペットの写真
- 餌と水（少なくとも5日分以上）
- 予備の首輪・ハーネス、リード（伸びないもの）
- 食器
- ワクチン接種状況、既往歴などの情報が分かるもの

